

大田っ子だより R6. 10. 22 文責 校長

～汗もきらきら 稲刈り作業～

生憎の天候で2回も延期を余儀なくされた稲刈りを、全校で10月11日(金)に行うことができました。この日は、お米の先生である安東勇次さんを始め、地域の方や保護者も応援に来てくださいました。

子どもたちは畔に一列になり、鎌で目の前の稲の束を刈り進めます。高学年は、経験から手つきがよく、力の入れ具合もうまく刈っています。低学年は、稲をうまく刈ることができず、苦戦中。しかし、あきらめることなく何度も鎌を前後に動かしながら、一生懸命刈っています。

田は水はけが十分でなかったようで、ぬかるみ状態です。稲を刈り進めるにつれ、足元深くはまっています。時には泥に足を取られてこけそうになる子や、動けなくなる子も見受けられます。悪戦苦闘しながらも、ゆっくりではありますが、着実に刈り進めることができています。

子どもたちが刈り取った稲は、泥水につからないように我々大人に手渡してもらい、畔まで持っていくという流れで、四方の畔の上は、だんだんと収穫した稲でいっぱいとなりました。

途中休憩をはさみながら、約2時間かけて稲刈りは終了しました。子どもも大人も噴き出した汗がきらきら光っています。

子どもたちは、体を使っての作業を通して、米を育てることの大変さや収穫のありがたみを学ぶことができたようです。

安東さんのご協力で、収穫した米の脱穀と乾燥、精米をしていただきました。精米した米は、10月17日のどぶろく祭りで、4～6年生が販売しました。



～「おいしいですよ!!」～

10月17日(木)、白鬚田原神社のどぶろく祭り初日です。この日は、4～6年生が、収穫した米を祭りで販売します。販売に向けて、安東さんに脱穀・乾燥・精米していただいたお米を1kgずつ袋に入れる作業を、子どもたちが前日までにしています。

神社下の道路沿いにお店を出し、いよいよ販売開始です。「大田っ子米です」「おいしいです」。販売を始めてすぐは、恥ずかしさのためか子どもたちの声が小さめです。しかし、慣れてくると、声に力がこもり、大きな声でアピールしています。

「大田っ子米、いかがでしょうか～!」「買って下さい!」「おいしいですよ!!」。子どもたちの声を聞いて、祭りに来

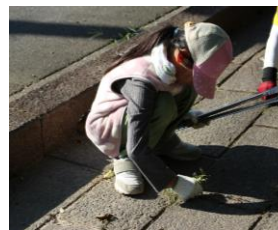
た地域の方や観光客の方がお米を買ってくださいます。子どもたちが8回草取りをしたことを知ると、「よくがんばったね」「えらいなあ」と声をかけてくださる方もいます。

残り6袋となりました。子どもたちの声にさらに力がこもり呼び込みます。そうしてお店を出して約1時間でお米は完売しました。全部売れた時の子どもたちの喜びは一入でした。



白鬚田原神社クリーン活動

10月11日(金)、どぶろく祭りに来ていただいた方に気持ちよく過ごしてもらえるよう、全校で白鬚田原神社の道路沿いを中心に、落ち葉拾いや草取りをして、クリーン活動を実施しました。



～運動会練習も佳境に入りました～

運動会のスローガン“進んで 燃えろ 大田っ子”の姿が、練習においても見られています。

<応援練習>

応援の練習が不足しているようだと言われた赤白団長が話し合い、自分たちで昼休みの応援練習を企画し、団員に呼びかけました。両組とも応援歌に合わせて、振り付けを確認したい覚えたいようです。



<児童会競技>

ある日の昼休み、低学年の子どもたちが児童会競技「大玉ころかし」の練習をしようと、自主的に体育館へ向かいました。練習を繰り返すうちに、大玉を転がすスピードが速くなり、障害物もうまくよけながら移動できるようになっています。



本番が楽しみです。